



病む人の立場に立って

安全でより質の高い医療を提供します



【名古屋市中区/名古屋能楽堂】

## 基本方針

- |                      |                    |
|----------------------|--------------------|
| 1 病める人の尊厳と権利を守る医療の推進 | 4 拠点病院としての役割の強化    |
| 2 地域医療機関との連携と役割分担    | 5 研修・教育・研究の推進      |
| 3 高度医療の実践と救急医療の充実    | 6 安定した医療を提供する基盤の確立 |

## 患者さんの権利

- |                     |                         |
|---------------------|-------------------------|
| ○個人の人格を尊重した診療を受ける権利 | ○納得のいく説明を受ける権利          |
| ○信頼に基づく医療を受ける権利     | ○診療録の開示を求める権利           |
| ○個人情報保護の権利          | ○検査・治療法などの選択あるいは拒否をする権利 |
| ○診療情報提供を受ける権利       |                         |

## お願い

- |                                   |   |
|-----------------------------------|---|
| ○病気に関する正確な情報を医療者（医師・看護師等）にお伝え下さい。 | ○災害時あらゆる危険から回避するため、職員との連携にご協力をお願いいたします。 |
|-----------------------------------|---|

## もくじ

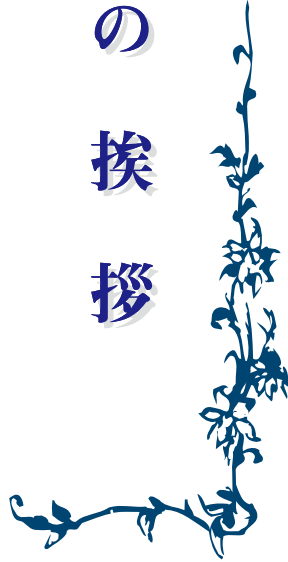
巻頭言 .....	2	医療最前線 .....	6
ドクターよもやま話 .....	3	連携医紹介 .....	7
職場紹介 .....	4	外来診療担当表 .....	8
トピックス .....	5		

# 巻頭 言

## 就 任 の 挨拶



臨床研究センター長  
永井 宏和



この4月より臨床研究センター長に就任しました血液内科の永井と申します。当院の臨床研究センターについて紹介いたします。

臨床研究センターといってもピンとこない方も多いと思います。また、なぜ名古屋医療センターに研究の施設と思われる方も多いのではないかと思います。通常、医学の研究というと大学病院などをイメージするのですが、当臨床研究センターは、一般的な市中大型病院に設置されていることが大きな特徴です。臨床現場に非常に近いところに研究施設があることにより、臨床と一体になった運用が可能となっています。

私たちは臨床研究、基礎研究に精力的に取り組んでおり、新しい薬剤を開発する治験をはじめ、医療者が主体となって推進する臨床研究など幅広く行っています。当研究センターはこれら医師が主導する治験・臨床研究をサポートする支援機能が優れてい

ることも一つの長所であり、自院のみならず、国立病院機構や他の研究母体で行われている研究をトータルで支援するシステムを全国に展開し、より良い治療の開発を行っています。また、細胞を安全に処理できるユニットも完備し、最近進歩が目覚ましい細胞免疫療法も手掛けています。

基礎的な研究というと臨床と離れたイメージを持たれるかもしれませんが、当研究センターの基礎的な研究は、その結果が臨床に直結するものが中心です。たとえば、今話題のゲノム医療です。治療につながるゲノム解析情報を臨床現場に還元する研究を、小児を含む血液がんでは当院が全国の中心として推進しています。

医療に関わる研究はすべて、「より質の高い医療」を目指して行われます。そして患者様の視点がないと研究自体が成り立ちません。また科学的・社会的な視点も重要です。皆様とともに、今日そして明日の医療に貢献できるよう当臨床研究センターは努めてまいります。今後ともよろしくお願いいたします。



# ドクター よもやま話

## 病理医になるには



病理診断科医長  
西村 理恵子



「病理診断科」は、「病理医」が「病理診断」を行っている部門です。「病理医」は、内科医や外科医と同じような医師ですが、通常は患者さんに接することはありません。今回は、「病理医」とその仕事である「病理診断」について紹介します。

「病理医」の主な仕事は、診断目的に病気の臓器から採取された臓器の一部や細胞が、どのような状態であるかを顕微鏡で診断することです。これを「病理診断」といいます。患者さんが担当の医師から聞く「病理診断」は「病理医」が行っています。正確な「病理診断」には、訓練と経験が必要です。また、「病理医」は、病気で死亡された方の解剖も行います。解剖では、まず取り出した臓器を目で見て正常との差を判断しますが、その後、臓器の一部から作った標本を顕微鏡で観察してから、最終的な診断を行います。そのため、病理解剖の結果の報告には時間がかかります。

次に、「病理医」になるための方法を説明します。日本の医学部卒業生は、医師国家試験合格後に広い分野の研修を2年間行った後に、自分の専門分野を

決めます。「病理医」をめざしたい場合は、専攻医として「病理診断」にしぼった研修をするか、大学院に入学して医学博士号をとるための研究を行いながら、「病理診断」の研修を行います。病院で「病理医」として働くためには、多くの場合、日本専門医機構が認定する病理専門医の資格を求められます。病理専門医になるためには、日本病理学会が実施する専門医試験（筆記試験、実技試験）に合格する必要があります（<http://pathology.or.jp/senmoni/board-certified.html>）。この試験の受験には、日本病理学会が認定する研修施設での3年もしくは4年以上の研修が必要です。

「病理医」は、病院の質を決めるやりがいのある仕事です。名古屋医療センターには3名の常勤病理医が働いています。医療関係者以外の方に「病理医」の存在を知っていただくとともに、医学部を目指す高校生に「病理医」を目指してほしいと思います。





## 地域連携室

地域医療連携室看護師長 和田 一樹

地域医療連携室は、患者さんの病気に応じて必要な医療や支援が受けられるよう、地域の医療機関や介護保険事業所、院内の関係部署との連携を図り、患者さんと病院、地域をつなぐ窓口になります。具体的な地域医療連携室の業務は、地域の医療機関との機能分担(急性期、回復期、慢性期など)、相互連携、医療機器(CT・MRIなど)の有効活用のため、医療機関や施設と連携して患者さんの診療の予約や入院の調整をしています。他にも、市民公開講座や金鯱友の会勉強会の開催や、当院を知っていただけるよ

うに名古屋医療センター NEWS(広報誌)を2ヶ月に一回作成し地域の皆様の健康増進に少しでもお役にたてるよう情報を発信しています。退院支援では、専属の看護師を中心に退院後も安心して療養生活が送れるよう支援しています。

地域の中で高齢者が増えていく今後は入退院時の支援や医療と介護の連携強化がさらに重要となります。今後も、皆様に安心・安全で質の高い医療を提供ができ、地域に開かれた病院を目指して連携室一丸となって関わっていきたく思いますのでよろしくをお願いします。



## 西6階病棟

西6階病棟看護師長 荒川 春美

西6階病棟は脳神経外科病棟で、脳神経および脊椎の病気や怪我などの、急性期から回復期の患者様が入院しています。脳動脈瘤や、脳梗塞・脳出血・くも膜下出血などのいわゆる脳卒中(脳血管障害)のカテーテル治療や手術が主な診療で、その他に脳や脊髄の腫瘍、脊椎疾患、頭部や脊椎の怪我、パーキンソン病などの患者様の治療も行っています。脳や神経の病気では、突然発症し生活が一変してしまうこともあります。西6階病棟では、入院前の状態により近い状態に回復していただけるよう、リハビリテーション科や多職種

と協力しています。看護師は患者様一人ひとりの残存機能の維持や発展により、生活の再構築ができるよう関わりを行っています。また、少しでもその人らしく生活していただけるよう、患者様の意向を大切にした看護実践が提供できるよう努めています。



# トピックス

## 認定看護師の紹介

### 慢性心不全看護認定看護師

新美 亮子

皆さんはじめまして。今までは、心臓血管センターで勤務していましたが今年の4月から外来2階に異動になりました。心不全は、良くなったり悪くなったりを繰り返し徐々に進行していく病態です。心不全は一度かかると残念ながら、治癒することはありません。しかし、みなさんが自宅で体重を測ったり薬をしっかり飲むなど、自己管理をすることで心不全の悪化を防ぐことができます。そんな皆さんの自己管理のお手伝いをするのが、私の役割の一つです。また、心不全と上手く付き合いながら生活をす



るためには、入院中から退院後の生活を見据えて、今までの生活の見直しをする必要があります。そんな皆さんの生活の見直しを一緒に考え、退院の支援・調整を多職種と共に提供するのが私の役割でもあります。皆さんが、心不全と上手に付き合いながらより良い生活が送れるように支援できればと思っています。外来通院中、病棟に入院中、どんな些細なことでも構いません、気になることや困ったことなどがあれば遠慮なくご相談下さい。



### 皮膚・排泄ケア認定看護師

山口 梨乃・杉下 佳栄

私たち『皮膚・排泄ケア認定看護師』は、ストーマ（人工肛門や人工膀胱）の造設、褥瘡（床ずれ）、および失禁に伴って生じる問題に対して専門的な技術を用いて質の高い看護を提供する看護師です。

褥瘡に関しては医師や薬剤師、栄養士、理学療法士と多職種からなるチームで、院内の褥瘡発生予防、治癒促進に向けた介入や職員の知識、技術の向上に努めています。

また、ストーマを有する方が排泄障害を克服し、入院中、退院後も安心した生活を送ることができるようにストーマ外来を開設し継続してサポートさせていただきます。

わが国では高齢者が急増しており、いったん病気

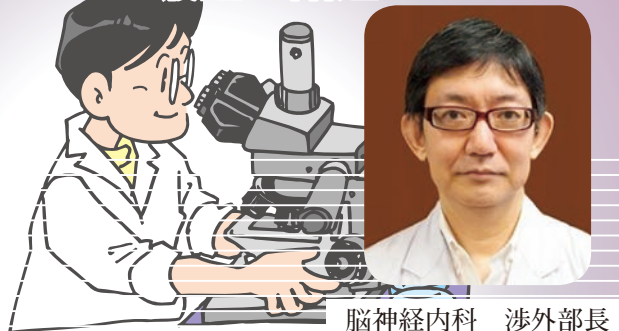
になると寝たきりの状況が続き、褥瘡発生やおむつを使用する方、ストーマを保有する方などスキンケアや排泄ケアにおいて注意が必要な方も増えていきます。今後、病院だけではなく施設や在宅など地域においてもスキンケアや排泄ケアが拡充していくことが課題であり、ケアの普及のために努めていきたいと思っています。



# 医療最前線

## 睡眠と健康

～最近の話題から～



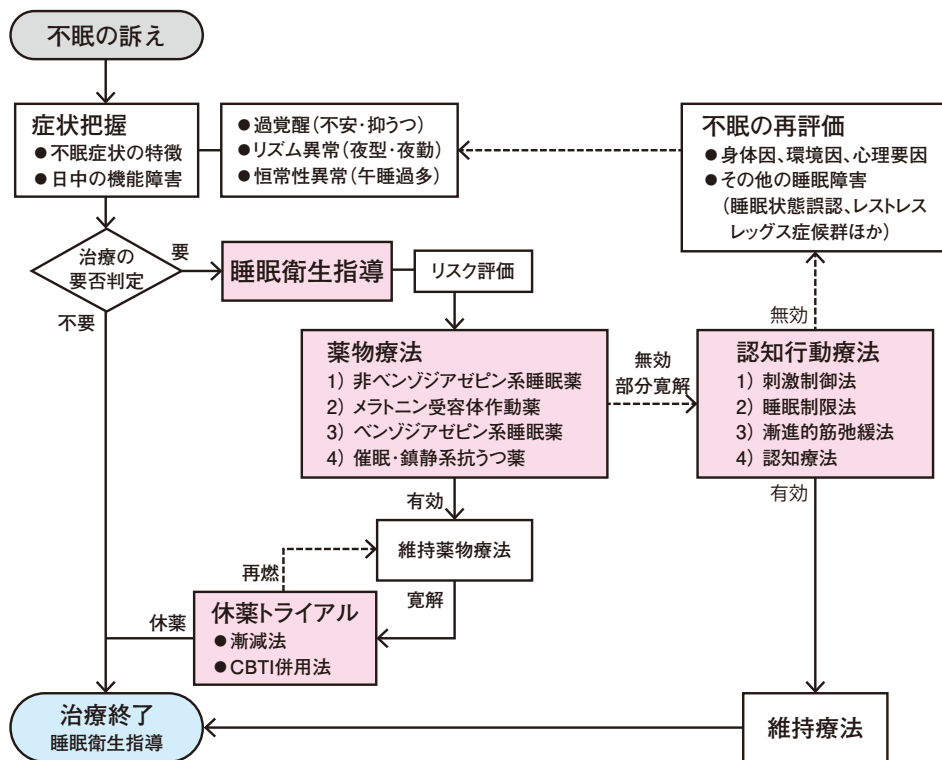
脳神経内科 渉外部長  
岡田 久

睡眠不足が重なることによる睡眠負債が、日常生活や仕事の能率低下とともに、様々な病気をひきおこすとされています。働き方改革で、超過勤務をいかに減らすかが求められていますが、超過勤務時間に注意が必要とされるひとつの基準が月80時間で、これは、睡眠時間が6時間以下になると脳・心臓疾患をはじめ様々な疾患がおこる危険性が増大するという報告などから、睡眠時間6時間を確保するためには、超過勤務が月80時間未満であることが必要ということが根拠となっています。

睡眠時間だけでなく、睡眠の質も重要で、睡眠の質が低下する代表的な疾患が睡眠時無呼吸症候群です。睡眠中の無呼吸・低呼吸により、夜間に低酸素や覚醒を繰り返し、睡眠不足と同様

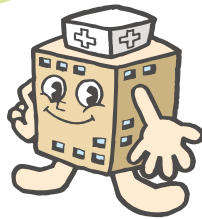
に仕事の能率低下や、長期的には様々な疾患につながるため、睡眠時無呼吸症候群の可能性があれば、標準的な治療である持続気道陽圧療法(CPAP)の適応があるか評価する必要があります。

また、就寝したら翌日にそなえてすぐに入眠しなければいけないという考えなどから、睡眠薬に頼る傾向が、欧米に比べて日本では多く、ベンゾジアゼピン系薬剤の使用状況を1000人あたりで比較すると、日本は米国の数倍という報告もあります。図は2013年版「睡眠薬の適正な使用と休薬のための診療ガイドライン」に記載されている不眠症の治療アルゴリズムで、欧米だけでなく日本でも以前からベンゾジアゼピン系薬剤の長期処方について適正使用が喚起され、平成30年度の診療報酬改訂では、さらに適正化を促す内容となりました。図の非薬物療法(睡眠衛生指導・認知行動療法)にはある程度の時間が必要ですので、限られた診療時間の中で、かかりつけ医や担当医とよく相談して、よい睡眠が得られるようにこころがけましょう。





# 連携 医 介 紹



理事長 瀬田 浩之

2000年宮崎医科大学医学部卒業。岐阜県の医院で、院長を務めた後、2014年にセタクリニックを開院。本形成外科学会形成外科専門医。

## 医療法人 浩誠会 セタクリニック

当院では、全人的な医療、いわゆるプライマリケアを重視した診療を行っています。患者様が求めるのは、「QOL」(生活の質)の向上です。それに自分がどう寄与できるか、それを考え実践していくことが重要だと考えています。診療において、診るべきは症状ではなく、人そのものです。それを忘れず、その人にとって一番適切な答えを出していくことが大切と考えています。

当院には、保険適用のQスイッチルビーレーザーを導入しております。あざのレーザー治療では、遅発性両側性太田母斑様色素斑(青あざ)、扁平母斑、異所性蒙古斑、外傷性色素沈着症において保険適用になっています。

また、最新機種であるエムエムアンドニークのIB103を導入しております。施術時の痛みも少なく、副作用も少ないため、小児の患者様が多くいらっしや



リハビリ室



クリニック入口正面



待合

います。美容皮膚科として、シミ取りも行っております。

形成外科の専門医として、火・金曜日のお昼と土曜日の午後に、眼瞼下垂や皮弁形成などを行っております。患者様のニーズに応えながら、設備や体制を刷新していきたいと考えております。これからも一人の医師としてできることに熱心に取り組み、患者様の悩みに応えていけるように努めてまいります。

### 医療法人 浩誠会 セタクリニック

所在地：〒462-0841 名古屋市北区黒川本通4-38-1  
カーサヴィアンカ黒川2F

電話：052-325-6699

F A X：052-325-6698

診療科目：整形外科・形成外科・皮膚科・美容皮膚科  
美容外科・リウマチ科

U R L：http://www.seta-clinic.com

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00~12:00	○	○	○	×	○	△
15:00~18:00	○	○	○	×	○	▲

受付時間 8:30 ~ 11:45 / 14:30 ~ 17:45

△土曜日受付 8:30 ~ 12:45 ▲完全予約制(美容施術、手術)

休診日：木曜日・日曜日・祝日

外来診療担当表

Table with columns for medical department (診療科), month (月), and days of the week (火, 水, 木, 金). Rows include internal medicine (内科), surgery (外科), and various specialties like gastroenterology, respiratory, and nephrology.

※総合内科受診希望の方で紹介状をお持ちでない場合は、月・火・水のいずれかでご来院ください。木・金は予約のみ。

Table for '禁煙外来(2階)' (Smoking cessation clinic) with columns for department, doctor, and appointment type.

Table for '緩和ケア科(2階)' (Palliative care) with columns for department, doctor, and appointment type.

Table for '腫瘍内科(2階)' (Oncology) with columns for department, doctor, and appointment type.

※腫瘍科では、担当医以外にも当番医が脈絡確保、アレルギー対応などを行っています。

Table for '内視鏡室(2階)' (Endoscopy room) with columns for department, doctor, and appointment type.

Table for '精神科(2階)' (Psychiatry) with columns for department, doctor, and appointment type.

※初診は月・水・木・金のみ、予約制となります。

Table for '脳神経外科(2階)' (Neurology) with columns for department, doctor, and appointment type.

Table for '外科(1階)' (Surgery) with columns for department, doctor, and appointment type.

※ストマ外来... 火曜1・2・3・4週 ※中山智医師、萩原医師の心臓血管外科は特別診察室で行います。

※末梢血管外科は完全予約制です(13:30~15:30)。

◎外来受付時間 ○初診/午前8時30分~午前11時 ○再診/午前8時20分~午前11時

◎休診日 土曜、日曜、祝日、年末年始(12/29~1/3)

◎担当は都合により予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

Table for '整形外科(1階)' (Orthopedics) with columns for department, month, and days of the week.

Table for '皮膚科(3階)' (Dermatology) with columns for department, month, and days of the week.

Table for '小児科(3階)' (Pediatrics) with columns for department, time (午前/午後), and doctor.

Table for '遺伝診療科(2階)' (Genetics) with columns for department, doctor, and appointment type.

※遺伝診療科及び遺伝カウンセリングは完全予約制です。＊カウンセリング予約枠:月曜1枠(13:00-14:00)、木曜2枠(13:00-14:00、15:00-16:00)

Table for '耳鼻いんごう科 頭頸部外科(3階)' (ENT) with columns for department, doctor, and appointment type.

Table for '眼科(3階)' (Ophthalmology) with columns for department, doctor, and appointment type.

Table for '産婦人科(3階)' (Obstetrics/Gynecology) with columns for department, doctor, and appointment type.

※本曜の診察は、手術がある場合は1診対応となり、どちらかの医師の診察となります。産褥1ヶ月健診は、全曜日に行います。

Table for '泌尿器科(3階)' (Urology) with columns for department, doctor, and appointment type.

Table for '血液内科(3階)' (Hematology) with columns for department, doctor, and appointment type.

※LTFU:造血幹細胞移植後外来

Table for '専門外来(3階)' (Specialty clinic) with columns for department, doctor, and appointment type.

Table for '歯科口腔外科(3階)' (Dentistry) with columns for department, doctor, and appointment type.

Table for '放射線科(地下1階)' (Radiology) with columns for department, doctor, and appointment type.